対象：中・高校生及びこれから親になる世代

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 時間：70分程度

|  |  |
| --- | --- |
| ねらい | * ワークを通じて、ワーク・ライフ・バランスについて考えることで、働き方の見直し、

固定的性別役割分担意識の解消や、家族やパートナーとの協力の在り方について考える。 |
| 実施のポイント(評価など) | ○　働きながら子育てができる環境を整備していくためには、働き方の見直しが必要という考えを深めることができる。○　誰もが働きながら子育てができる環境づくりを進めることの重要性に気付くことができる。○　固定的性別役割分担意識が残っていないか確認することができる。 |
| 事前準備 | * あらかじめ4～6人のグループに分かれておく。

〇　筆記用具　○　ワークシート　〇　アンケート用紙（必要に応じて）〇　資料　　　〇　付せん紙　　　〇　模造紙　　 |
| 時　間 | 学習活動 | 学習活動のねらい（◎）とポイント（・） | 準備物 |
| 　　　10分**導　入** | ・ワークの趣旨説明・3つの約束・アイスブレイク　（自己紹介） | ・自己紹介でプライベートの好きな時間を紹介することにより互いに親近感がもてるようにする。 | ３つの約束 |
| 10分**展　開**10分25分 | **ワーク１**・エピソードを読む。・役割分担について自分の考えをグループ内で発表し、共有する。 | ◎自分が役割分担についてどのような意識をもっているか気付くことをねらいとする。・質問項目の役割分担について自分の考えを「回答」に書き込む。・自分の考えをグループ内で発表し、共有する。 | ワークシート（役割分担表） |
| **ワーク２**・ワーク1の「回答」と資料を見てグループで話し合う。 | ◎固定的性別役割分担意識に気付くことをねらいとする。・グループ内で進行役と書記役を決める。・進行役を中心に自由に話し合う。・出てきた意見を書記が記入する。 | 資料１－①資料１－②ワークシート |
| **ワーク３**・仕事と家庭のバランスがとれる方法をグループで話し合う。・グループの意見を発表し、全体で共有する。 | ◎働き方の見直し、両立支援の重要性に気付くことをねらいとする。・個人で付せん紙に書き出す。・グループ内で模造紙に付せん紙を貼り付けながら、自由に話し合う。その際、似た意見の付せん紙をまとめる。・様々な方法を知る。 | 資料２付せん紙模造紙 |
| 15分**まとめ** | **ふりかえり**・ワーク1の「ふりかえり後の回答」を書く。・ふりかえりを書きグループ内で感想を発表する。・数名発表し、全体で共有する。 | ◎ワーク２・３を振り返り、もう一度ワーク１をすることで、自分自身の意識の変化や高まりに気付くことをねらいとする。・ワーク・ライフ・バランス推奨のためには、何が必要なのかをまとめる。 | ワークシート（役割分担表）資料３（必要に応じて配付） |